油山		市田学坛	1 四課左帝	△和05年度(2)0022年度\	+22	3 米 シロ サルナポラ				
	工業高等	守门子的	と	令和05年度 (2	2023年段)	fx	業科目 地域員				
科目基礎	ET目牧	0000			TAIDE ()		60. / \2215				
科目番号		0098			科目区分	N//L N/	一般/選択				
授業形態 実技				単位の種別と	単位数	履修単位: 1					
開設学科			□学科(機械システム	(機械システム系)		対象学年		3			
開設期		通年			週時間数 1						
教科書/教	材	特になり									
担当教員		香取 重	尊,島田 悠彦								
到達目標	Ē										
的に生きる 到達目標: 1. 地域社 ◎ 2. 地域 ・素養を持	る事とは何だ : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	かについて ⁵ を理解し、 ⁷ 舌動を通し	学習する事を目的とす 社会性を身につける。	^T 。 文化,政治,社会問	題等を理解し,			こ今後一人の人間として社会 國人及び技術者としての姿勢			
ルーブリ	ーー リック										
<i>,,</i> , ,	, , ,	優		良		可		不可			
			·				かけつのお早や重				
評価項目1		要説	歌石勤の任芸的育泉で 性を理解し, その詳組 明できる。	理を 関係	スプラスで呈 , その基本事 る。	貢献活動の社会的背景や重要性を理解し、その基本事項を概ね説明できる。		貢献活動の社会的背景や重 要性を理解できない。			
評価項目2	!	,	献活動を積極的に展開 その意義を理解し,誤 説明できる。	間し 貢献活動を積 詳細 , その意義を 基本事項を説	極的に展開し 理解し, その 明できる。	貢献活動を積極的に展開し ,その意義を理解し,その 基本事項を概ね説明できる。		貢献活動を積極的に展開し , その意義を理解できない。			
評価項目3	}	の	共心を持ち,他人や自 独創性について詳細に することができる。		, 他人や自分 いて基本的に ができる。	公共心を持ち,他人や自分 の独創性について概ね表現 することができる。		公共心を持ち,他人や自分 の独創性について表現する ことができない。			
学科の至	達目標項	頁目との 関	関係								
教育方法	等										
概要		である。 	学習教育目標との関連:本科目は総合理工学科学習教育目標「④分野横断的な融合力の育成,⑤グローバルな視点と社会性の養成,⑥課題探求・解決能力の育成,⑦コミュニケーションカ・プレゼンテーションカの育成」に相当する科目である。 授業の概要:地域の社会活動に計画的に参加し、交流活動報告書を提出する。								
授業の進め方・方法		活動後(成績評価)出るとる	授業の方法:個々に計画書を作成し、それに従って活動する。具体的な活動内容は活動する機関のプログラムに従う。 活動後に報告書を作成、提出する。 成績評価方法:報告書により活動への貢献度。理解度等を判定し100点満点で評価する。 合格した者は担当教員に申し 出るとともに学年末試験の最終日までに教務委員会へ単位取得申請を行うこと。教務委員会で単位認定を審議し、合・								
注意点		履修上の書を提出 一般を上記 一般を上記 一般を上記	否で評価する。 履修上の注意:この科目を履修しようとする年度の前年度の適切な時期までに担当教員を決定し、担当教員に貢献計画書を提出、その了解を得ること。その後、所定の期日までに、選択科目履修願・貢献願等必要な書類を提出すること。尚、上記の担当教員の決定、各種書類の提出時期等の詳細は、掲示等で指示する。対象学年は、2~5年生です。履修上の区分:選択 履修のアドバイス:事前に準備学習を行い、自ら積極的に取り組むことが必要である。								
		関連科目 受講上の	基礎科目: 国語全般,社会全般,語学全般 関連科目: 国語全般,社会全般,語学全般 受講上のアドバイス: 貢献活動は指定された期間において行うことが必要なので,該当する期間であるかどうかをよく 確認すること。また貢献活動に必要な経費は、原則としてすべて自己負担である。								
授業の属	属性・履修			川に必安は往覚は、 /	水内 こして 9 个	、C日口貝	正にのる。				
	・ィブラーニ	ング	☑ ICT 利用		☑ 遠隔授業対	対応	□ 実	務経験のある教員による授業			
選択											
授業計画	<u> </u>										
		週	授業内容			週ごと	 の到達目標				
前期	1stQ	1週	ガイダンス 書類作成、手続き等の説明			1					
		2週									
		3週	貢献活動 1日8時間を上限として合		計27時間以上	-					
		4週	同上		<u> </u>	_					
		5週		· 		+					
			·			+					
		6週	同上			-					
		7週	同上			+					
		8週	同上								
	2ndQ	9週	同上								
		10週	同上								
		11週	同上								
		12週	同上								
		1~-	1								

		13週	同上							
		14週	同上							
		15週	同上							
		16週	同上							
		1週	同上							
後期		2週	同上							
		3週	同上							
	3rdQ	4週	同上							
	SiuQ	5週	同上							
		6週	同上							
		7週	同上							
		8週	同上							
1安州		9週	同上							
		10週	同上							
		11週	同上							
	4thQ	12週	同上							
	401Q	13週	同上							
		14週	同上							
		15週	同上							
		16週	同上							
モデルニ]アカリ	リキュラムの)学習内容と到達	目標						
分類 分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週										
評価割合	<u> </u>							•		
ртімцэн			発表	相互評価	自己評価	課題	その他	合計		
総合評価割合		0	0	0	0	100	0	100		
基礎的能力		0	0	0	0	60	0	60		
専門的能力		0	0	0	0	0	0	0		
分野横断的能力		0	0	0	0	40	0	40		